

平成31年度施政方針

新たな時代へ向かう年

現

在、国におきましては、少子高齢化の壁に本腰を入れて立ち向かうため、「幼児教育・保育の無償化」が今秋からスタートし、その財源となる消費税の引き上げが予定されています。また、人生100年時代を見据え、これまでの働き方改革の上に、更なる雇用制度改革を進めるなど、未来を担う子どもたち

に大胆に投資し、子どもから現役世代、お年寄りまで、すべての世代が安心できるように、社会保障制度を、全世代型へと大きく転換するとともに、未来の可能性に満ち溢れた地方創生を進めようとしています。

また、大阪府におきましては、経済が緩やかではありますが拡大しており、インバウンドにより街が活況なことに加え、本年6月の金融・世界経済に関する首脳会合「G20大阪サミット」及び、2025年「大阪・関西万博」を、大阪が世界に向けて存在感を発揮していく千載一遇のチャンスと捉え、全庁一丸となって取組を加速させるとともに、昨年の災害を教訓として、成長を支える基盤である安全・安心のレベルをさらに高めようとしています。

本市としては、このような国や府の動向、施策展開に柔軟かつ迅速に対応しつつ、国・

府に対し、もの申すべきときは申し上げ、地方分権時代における基礎自治体としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。

また、今後、国際的なイベントが目白押しですが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会では参加国のホストタウンとして、日本の「おもてなし」を海外の方に実感いただけるよう、市民のみならずともに万全な体制を整え、「大阪池田」を世界に発信してまいります。

◆市制施行80周年

市制施行80周年に關しましては、本年10月に記念式典を開催するべく準備を進めております。また、80周年記念事業実行委員会を組織し、市民一人ひとりの心に残る、愛する池田の明日につながる記念事業を企画・実施するとともに、市民が主体となった団体が行う80周年に関連した事業も支援してまいります。

昨年秋からのNHK連続テレビ小説「まんぷく」の放映、観光PR動画の制作・公開などにより、本市にわくわくする風が吹いています。風に流されるのではなく、この風に乗って、池田版DMOの始動とともに、「小

さくとも世界に誇れるまち」をスローガンに、日本はもとより世界に向けたシティブロモーションの取組を加速させてまいります。

◆新たな時代に向けて

5月1日には天皇陛下の退位と皇太子さまの新天皇即位に伴う改元により、新たな時代の幕が開きます。池田市も心機一転衣替えをして、市民のみならずともに、夢の花を満開にさせるとともに、池田の次代を見据え、新たな種をまく準備の時でもあります。

もとより、新たな時代を築く主役は行政ではなく、一人ひとりの市民のみならずであるとの認識のもと、全国初・池田発の地域分権制度の一層の浸透を図り、市民との協働によって「池田のまち みんなまとめてテーマパーク構想」の具現化を進めてまいります。

一方で、各種基本条例の見直しを含め、適正な運用を図るとともに、本年度スタートする「第3期実施計画」「行財政改革推進プランⅢ」に基づき、計画的な市政運営、安定した財政運営にも努めてまいります。

また、昨年の自然災害への対応を省み、協働によるまちづくりを推進するうえでの大前提となる市民の安全・安心も引き続きしっかりと確保してまいります。

そして、本市の第6次総合計画における将来都市像「豊かな自然を守り、遊ぶ歴史に学び、集うにぎわいが人と人をつなぎ、豊かで美しい心が育まれるまち」の実現に向けて、「活力」「福祉」「環境・安全」「協働」「教育・文化」「行財政改革」の各分野の基本目標に沿った施策を実施してまいります。

にぎわいと活力あふれるまち

駅周辺を中心とした市街地の整備

- 老朽化対策や地域交流の促進強化のため、共同利用施設池田会館と栄本町のコミュニティセンターを統合した「(仮称)池田地域交流センター」の整備を検討するとともに、池田駅周辺を中心とする中心市街地の活性化に向けた計画の策定にも引き続き取り組んでまいります。
- 石橋駅前会館に図書館や集会施設などの機能を複合させるとともに、大阪大学の学生をはじめ、石橋に集う人々が交流できる場として、地域の活性化に資する拠点施設整備のための設計を行います。

商工業の振興・活性化

- 創業者への経営支援では、商工会議所及び金融機関と連携した特定創業支援事業「事始めアシスト池田」を軸とした、「事始め奨励大賞」のほか、企業版ふるさと納税を活用した創業支援制度を創設いたします。
- いけだピアまるセンターにおいて、事業者が集い働きながら交流ができるシェアオフィスを新たに設けるとともに、ワークショップなどを開催することで事業者間の連携促進にも努めてまいります。



観光の振興

- 昨年度発足した、うまい池田PR実行委員会による「うまい de 池田プロジェクト」において、本市が誇る地域資源を効果的にPRするとともに、国際イベントに向け、海外から絶大な人気を誇る忍者を活用したプロジェクト「池田忍者甲賀衆^{おうが}枉駕」を中心に、池田城跡公園を拠点とし、来訪者への「おもてなしイベント」を行ってまいります。
- 観光によるまちの活性化のために、昨年公開したPR動画をもとに設定した、少なくとも半日は楽しめる「池田の大決闘戦場コース」などの周遊ルートや池田駅周辺を拠点とするまち歩き型体験ツアーなどを企画・実施してまいります。

みんなが健康でいきいきと暮らせるまち

福祉社会の推進

- 敬老会館周辺の福祉施設などの再構築については、産官学連携による敬老の里プロジェクトチームを中心に検討を重ねて策定した基本構想に基づき、地域住民や高齢者が安心して利用できる「多世代交流の地域づくり施設」の構築に取り組んでまいります。

障がい者福祉などの充実

- 本年4月から新しい施設での運営が始まるくすのき学園については、障がい者の日中活動・就労訓練の場として、更なる充実に図ってまいります。

少子化への対応と子育て支援

- 高まる保育需要に対応するため、市立幼保連携型認定こども園「なかよしこども園」及び「ひかりこども園」を開園し、より質の高い幼児教育・保育の一体的な提供を推進するとともに、民間保育事業者の施設整備を支援し、保育の受け皿の拡大に努めてまいります。

- 日ごろ家庭で育児を行う保護者への支援充実を図るため、一時預かり施設利用補助券「ふくまる子ども券」の満1歳の子どもの利用期間を誕生月から年度末までであったものを誕生月から12か月間に延長いたします。

保健衛生の充実

- 各種がん検診については、池田市医師会の協力のもと、個別検診と休日急病診療所で実施する集団検診時の一部負担金を半額程度に減額することで、受診率の向上を図り、がんの早期発見、早期治療につなげるとともに、生活習慣病の予防及び健康づくりを推進してまいります。





人、環境にやさしい安全・安心なまち

災害に強いまちづくり

- 大規模災害時などでの救援物資の受入れや備蓄物資の管理・供給が円滑に行えるよう、旧細河小学校に防災備蓄倉庫を新設いたします。
- 本年度から自然災害により一部損壊した住宅の修繕に対し、費用の一部を補助する制度を創設いたします。

消防・救急救助体制の強化

- 近年増加傾向にある救急要請に対応するため、高規格救急自動車の増車を行い、内勤職員を含む運用により救急隊の増隊を図り、救急体制を充実強化してまいります。
- 消防団北豊島分団の詰所を移転・新築し、地域防災力の向上に努めてまいります。

良好な自然環境を生かしたまちづくり

- 災害に強く、安全で安心して利用できる公園整備を進めるとともに、五月山動物園の飼育環境の改良のほか、地域住民とともに特色ある公園づくりについて検討してまいります。
- 池田駅周辺地区のにぎわい創出のため、都市計画公園「(仮称)満寿美公園」を開設すべく、池田保健所の土地を取得するとともに、都市計画決定の手続きを進めてまいります。



みんなでつくる分権で躍進するまち

地域分権の推進

- 「自分たちのまちは自分たちでつくりたい」を合言葉に、地域住民のみならず、各地域の特性やニーズに応じた、より自主的・自立的なまちづくりを進めていけるよう、改めて制度や地域活動の周知を図るとともに、地域としっかり心合わせをして、協働のまちづくりを進めてまいります。

公益活動の促進

- 公益活動登録団体に対し、市への協働事業提案制度の周知を行い、まちづくりに参画する市民の増加を図ることにより、市民ニーズに一層調和したまちづくりをめざしてまいります。



豊かな心を育む教育と文化のまち

- 本年度も「教育日本一」をめざし、昨年度より予算を6千万円、平成27年度比2億2千万円の増額とし、更なる事業の展開・拡充に向けて、教育委員会と連携しながら取組を進めてまいります。また、「教育日本一」事業について、今後も財源を効果的に投じられるよう、検証会議を設置し、これまでの施策を検証してまいります。
- 本年5月にオープンする新図書館については、池田駅前「サンシティ池田」への移転を着実に進めるとともに、本来の図書館機能に加え、子育て世代などが交流できる施設として整備してまいります。
- 総合スポーツセンターについては、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンであるロシア代表のバレーボール、さらに、フランス代表のウィルチェアラグビーの事前宿泊地として、より安全で利用しやすい施設にするため、耐震化及び改修工事を進めてまいります。

国際交流の推進

- 東京オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博の開催による外国人観光客の増加が見込まれる中で、国際交流員を配置し、これまでの多文化共生施策を充実させ、魅力あふれる地域づくり、地域の活性化へと発展させてまいります。
- 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンであるロシアとの交流や本市ゆかりのオリンピック・パラリンピアンとの交流を行い、文化・スポーツなどにおける相互交流を行ってまいります。



行財政改革を推進し希望の持てるまち

健全な行財政運営の推進

- 本年度から4年間を計画期間とする「池田市行財政改革推進プランⅢ」に基づく改革を着実に進めてまいります。本プランの推進にあたって、本来の行財政改革の取組に加え、中・長期的な視点でまちの活性化を図る取組についても、行財政改革からのアプローチにより推し進めるとともに、その取組についても市民一人ひとりへ浸透するよう、分かりやすくお知らせいたします。
- 本年度から保育所などの入所選考事務においてAI技術を活用し、公平・正確な入所選考を迅速に行うことで、利用希望者への速やかな結果通知及び事務の省力化による職員の働き方改革を進めてまいります。

情報通信技術の活用

- 観光プロモーションなどSNSを活用した情報発信力の向上に努めるほか、シティプロモーションに関する庁内研修を実施し、本市の魅力職員が共有し、一丸となって発信してまいります。



本年度は池田市制施行 80 周年を迎える記念すべき節目の年であります。また、5月の改元、6月の「G20 大阪サミット」、さらには、2020年「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」、2025年「大阪・関西万博」などのビッグイベントを起爆剤と捉え、市民のみならず、市民のみならず、「小さくとも世界に誇れるまち」池田を世界に発信するとともに、「教育日本一、子ども・子育て支援日本一のまち」、「地域分権制度の飛躍的拡大」、「池田のまち みんなまとめてテーマパーク構想」の具現化に向けて、全力で取り組みます。

問い合わせは政策企画課 ☎ 754・6213